

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内的の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

令和5年の青森県の漁獲数量は117,029トン、漁獲金額は378億1,459万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では14,908トン(11.3%)減少、漁獲金額では15億9,103万円(4.0%)減少した。

(2) 主な減少要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」の漁獲数量が減少したことによるものと考えられる。

漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」等の漁獲金額が減少したことによるものと考えられる。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では53,324トン(31.3%)減少し、漁獲金額では9億725万円(2.3%)減少した。

漁獲が好調であった魚種は「たら」(漁獲数量対平年比139.2%)、「すけとうたら」(138.2%)、「にじます」(136.6%)等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「ほたてがい」(67.2%)、「さば」(25.2%)、「するめいか」(49.9%)等であった。

(4) 過去10年間の平均との比較

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では79,192トン(40.4%)減少し、漁獲金額では81億7,051万円(17.8%)減少した(表、図1)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成25年	185,855		44,660	
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
令和4年	131,937	△ 8.8	39,406	20.3
令和5年	117,029	△ 11.3	37,815	△ 4.0
平成25年～令和4年 までの平均 (A)	196,221		45,986	
令和5年／(A)%	59.6 %		82.2 %	

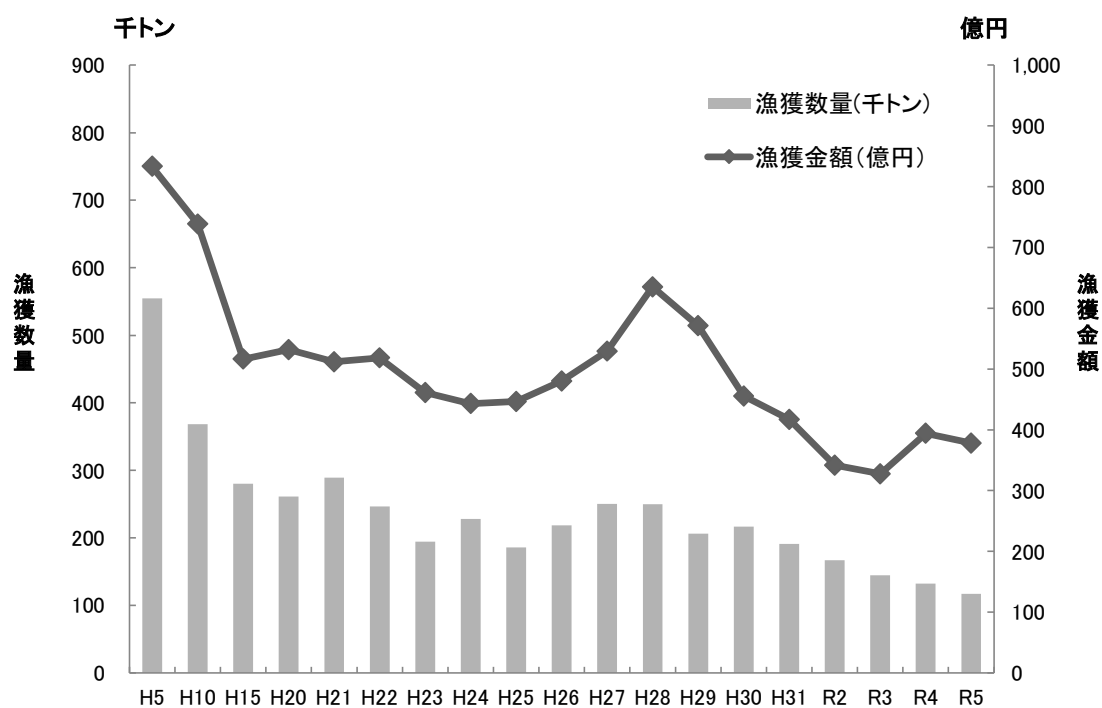


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

令和5年の漁獲数量を月別にみると、6月が28,097トンで最も多く全体の24.0%を占め、次いで5月の21,185トン(18.1%)、7月の17,786トン(15.2%)となっている(図2、第3表)。

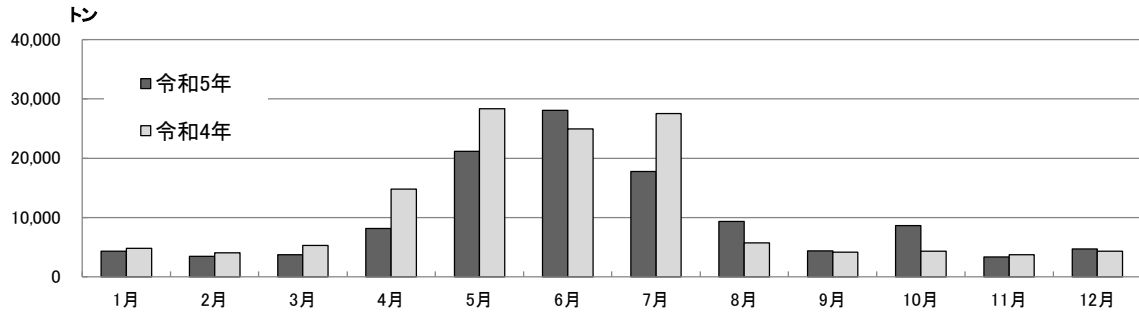


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

令和5年の漁獲金額を月別にみると、6月が67億1,907万円で最も多く全体の17.8%を占め、次いで5月の54億4,120万円(14.4%)、8月の41億7,933万円(11.1%)となっている(図3、第4表)。

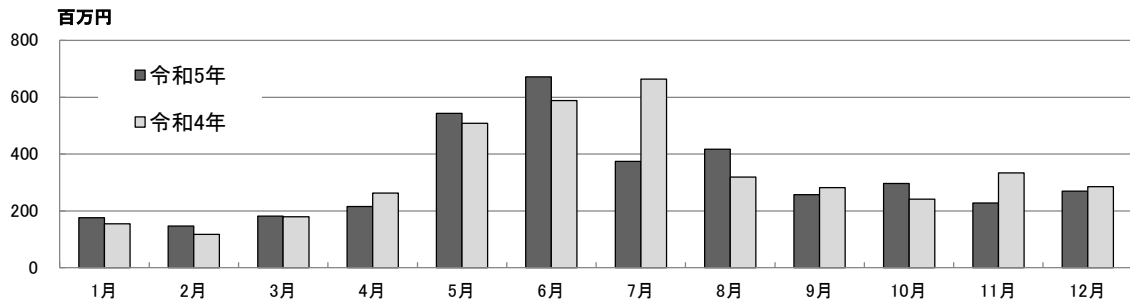


図3 月別漁獲金額

3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が57,155トンで最も多く全体の48.8%を占め、次いでまいわし等の「魚類」47,239トン(40.4%)、「その他の水産動物」10,475トン(9.0%)、「藻類」2,160トン(1.8%)の順となっている。

前年と比較すると、「貝類」は21,584トン(27.4%)減少、「魚類」は8,252トン(21.2%)増加、「その他の水産動物」は2,063トン(16.5%)減少、「藻類」は487トン(29.1%)増加した(図4、第5表)。

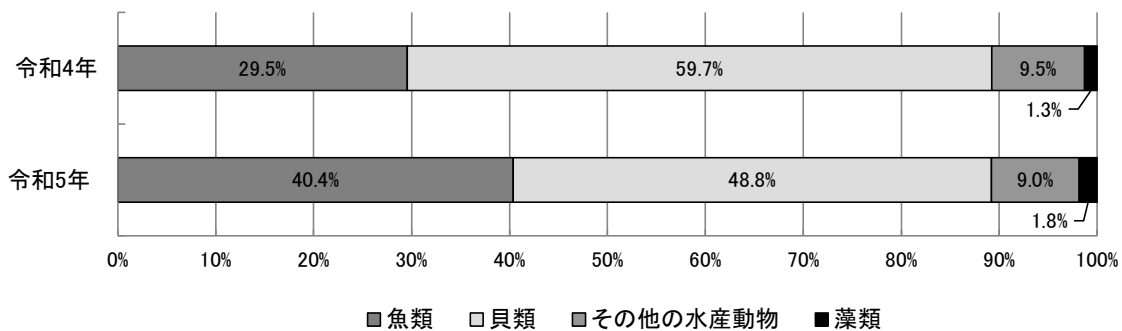


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が137億9,884万円で最も多く全体の36.5%を占め、次いで「魚類」118億2,376万円(31.3%)、「その他の水産動物」115億2,052万円(30.5%)、「藻類」6億7,146万円(1.8%)の順となっている。

前年と比較すると、「貝類」は22億917万円(13.8%)減少、「魚類」は20億5,088万円(21.0%)増加、「その他の水産動物」は15億3,384万円(11.7%)減少し、「藻類」は1億110万円(17.7%)増加した(図5、第6表)。

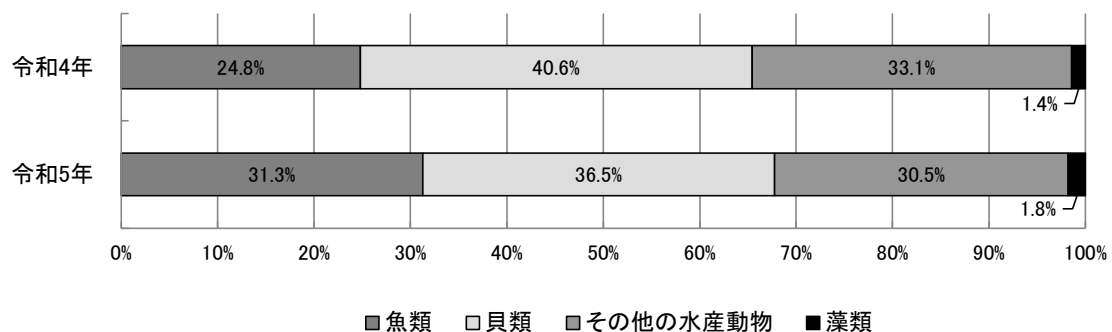


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」56,545トン（構成比48.3%）、「いわし類」22,067トン（18.9%）、「たら」5,367トン（4.6%）、「さば」4,892トン（4.2%）、「するめいか」4,732トン（4.0%）、「すけとうたら」3,154トン（2.7%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「まいわし」8,443トン（対前年増加率62.0%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は、「ほたてがい」21,600トン（対前年減少率27.6%）、「するめいか」1,847トン（28.1%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

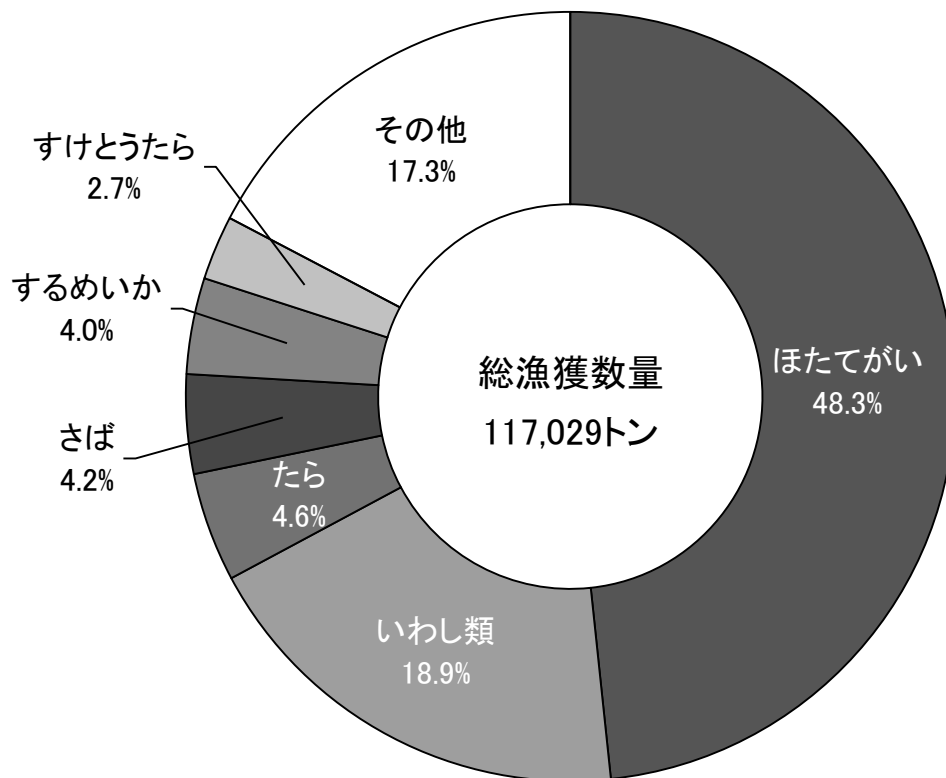


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」134億310万円（構成比35.4%）、「するめいか」47億1,145万円（12.5%）、「まぐろ」25億3,674万円（6.7%）、「あかいか」23億419万円（6.1%）、「なまこ」18億9,981万円（5.0%）、「にじます」14億9,063万円（3.9%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「まいわし」8億935万円（対前年増加率157.5%）、「にじます」6億214万円（67.8%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」22億2,674万円（対前年減少率14.2%）、「するめいか」8億9,694万円（16.0%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

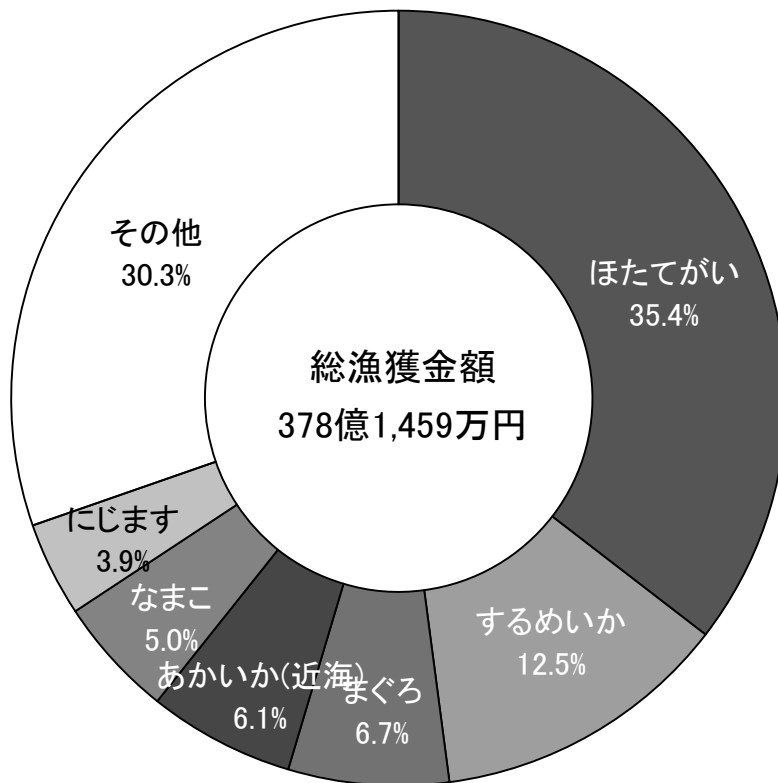


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が58,001トン（構成比49.6%）で最も多く、次いで「まき網漁業」22,581トン（19.3%）、「沖合底曳網漁業」8,261トン（7.1%）となっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「まき網漁業」9,795トン（対前年増加率76.6%）、「採藻漁業」1,003トン（89.9%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」21,561トン（対前年減少率27.1%）、「いか釣漁業」2,416トン（35.0%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が147億8,833万円（構成比39.1%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」43億4,206万円（11.5%）、「沖合底曳網漁業」36億6,907万円（9.7%）となっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「延縄漁業」11億2,808万円（対前年増加率258.6%）、「まき網漁業」8億4,528万円（110.3%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」16億135万円（対前年減少率9.8%）、「いか釣漁業」13億5,862万円（23.8%）となっている（第10表）。

5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 37,261 トンで最も多く全体の 31.8%を占め、次いで平内町 26.3%、外ヶ浜町 9.1%、むつ市 6.5%、青森市 5.1%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、八戸市 8,541 トン（対前年増加率 29.7%）、野辺地町 419 トン（21.3%）、今別町 358 トン（32.0%）、ほか 4 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、青森市 9,299 トン（対前年減少率 61.1%）、平内町 8,017 トン（20.7%）、蓬田村 2,306 トン（45.9%）ほか 12 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 99 億 4,444 万円で最も多く全体の 25.9%を占め、次いで平内町 21.0%、むつ市 7.5%、外ヶ浜町 6.7%、深浦町 5.5%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市 8 億 213 万円（対前年増加率 8.8%）今別町 6 億 9,430 万円（117.0%）、野辺地町 5,972 万円（8.2%）ほか 9 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、青森市 13 億 2,722 万円（対前年減少率 46.0%）となっている（図 9、第 12 表）。

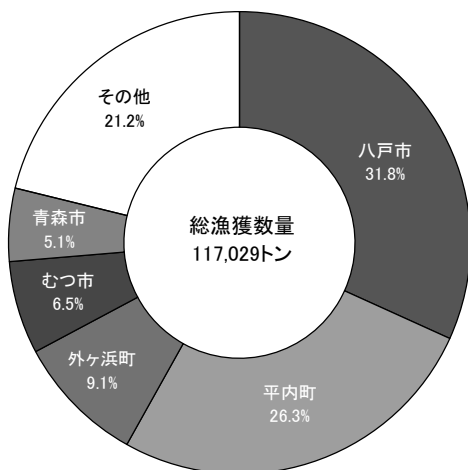


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

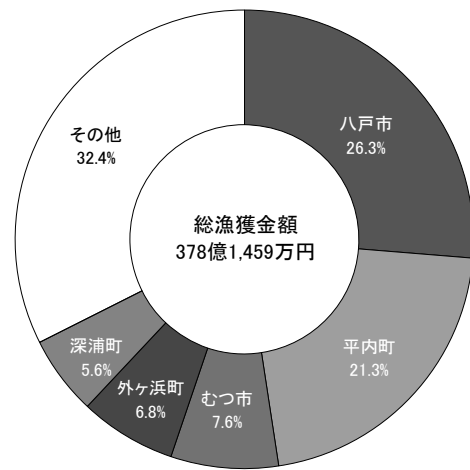


図 9 市町村別漁獲金額の構成比